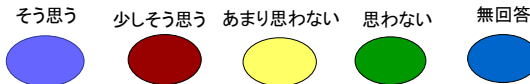
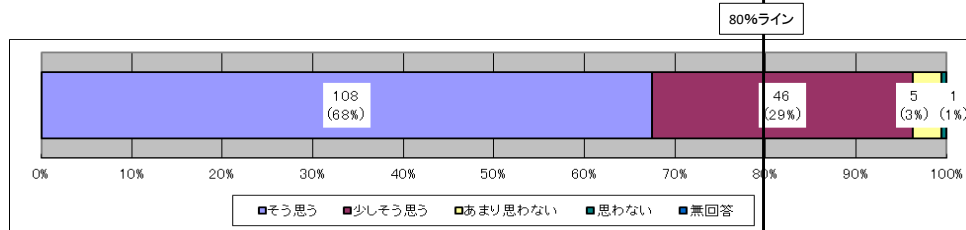


<実施日> 令和2年(2020年)12月11日～12月18日
 <対象> 横須賀市立豊島小学校保護者(1年～6年)
 <回収状況>

	児童数	回収数	回収率
1年	45	40	89%
2年	40	35	88%
3年	50	37	74%
4年	41	32	78%
5年	43	35	81%
6年	46	27	59%
全体	265	206	78%

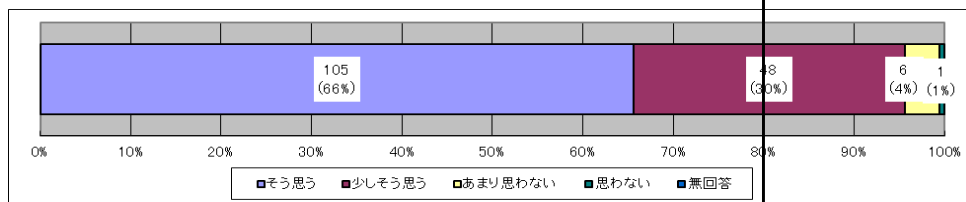


1 学校は、人と関わるよさや集団で活動する価値を実感できるように努めている。



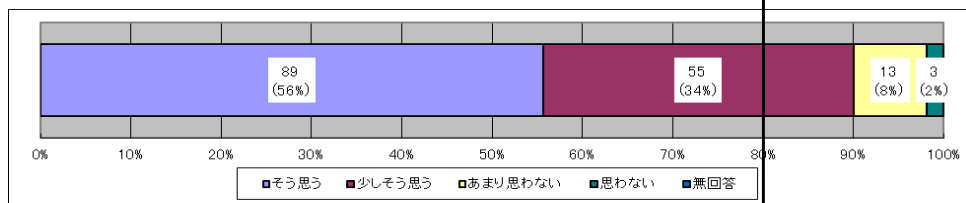
昨年度より、15までの質問は家庭数、16以降の質問については児童数で回答いただいています。母数が異なるため同じ割合でも回答数が違う場合があります。
 昨年度同様の高い評価です。学校に通うことで、毎日、多くの人と関わり様々な集団活動を楽しみます。友だちと楽しく遊んだり、意見を交わしたり、みんなの力を合わせて何かをやり遂げたりする経験を積むことで豊かな心が育っていくと考えています。

2 学校は、児童に生命を大切にす心や社会的ルール・マナーを大切にしようとする態度を育てようとしている。



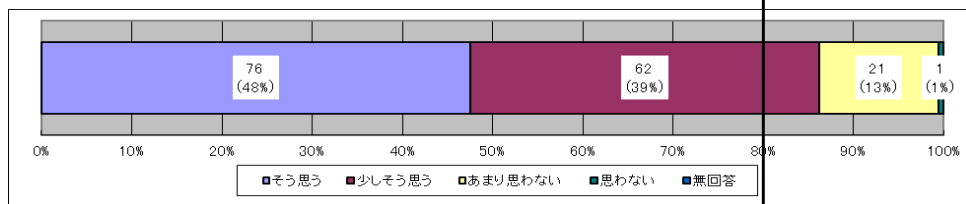
1の質問同様プラス評価（「そう思う」＋「少しそう思う」）が95%以上です。「そう思う」という回答が10ポイント近く増えました。ルールやマナーだから守るのではなく、なぜそのルールやマナーがあるのかを考えることで正しい行動がとれるような児童を育てていきたいと思っています。

3 学校は、人を思いやり豊かな心情を持つ児童を育ていじめのない環境づくりに取り組んでいる。



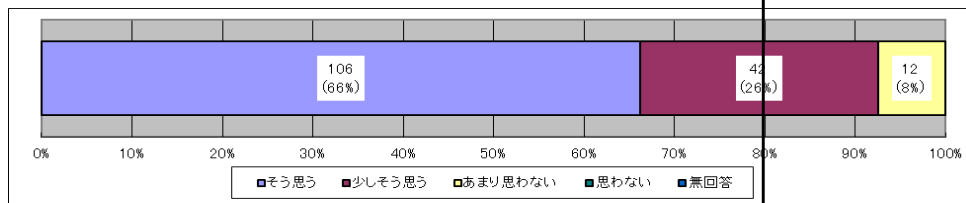
プラス評価が少し増えました。中でも「そう思う」が20ポイント近く増えています。豊島小では、学校研究として「認め合える児童の育成」に取り組んでいます。「認め合える」とは、「自分と相手の違いを受け入れ、自分のことも相手のことも大切にしながら関わり合うこと」と考えています。一人ひとりの心を大切にしながら、互いに思いやることのできる集団をつくることに努めています。

4 学校は、個々の教育的ニーズに応じた指導や支援に努めている。



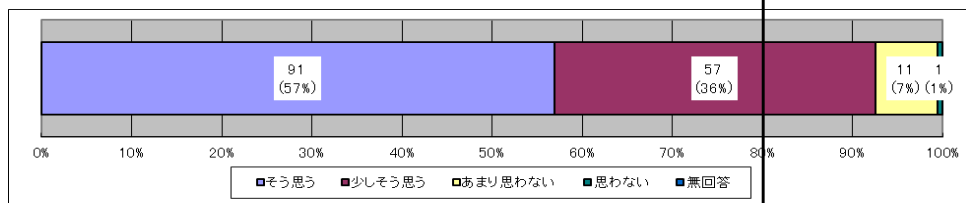
プラス評価が7ポイント増えました。学級担任は、できる限り一人ひとりに寄り添うことを心がけています。また、全職員が、それぞれの立場でできる最善を尽くそうとしています。「そう思う」という割合を増やせるよう今後も、ご家庭と連携しながら、指導や支援に努めていきたいと思っています。

5 学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。



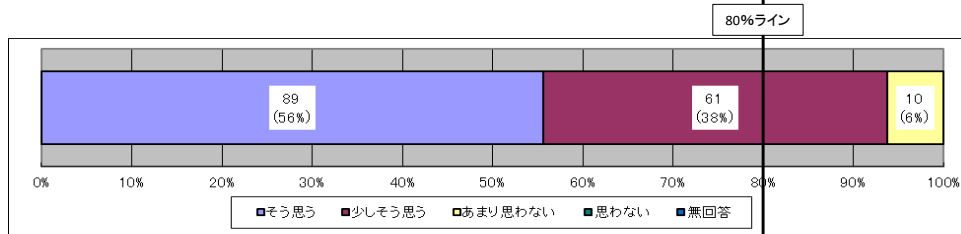
プラス評価は昨年度とほぼ同様ですが、「そう思う」が8ポイント増えています。今年度は新型コロナウイルス対応で授業参観を行うことができませんでした。そのような状況でしたが、日頃のお子さんの様子を見ていただいたご意見のことと思います。日々教材研究に努めている私達教師にとってはたいへん励みになります。「わかった」という実感ももてる、学習の楽しさにもつながっていきます。今後も、わかりやすい授業づくりに努めていきます。

6 学校は、児童に深く考える力をつけようとしている。



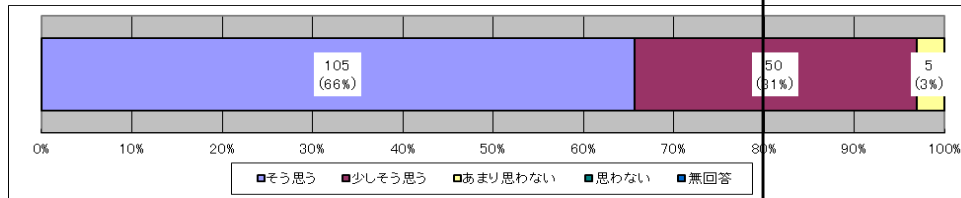
プラス評価が9割を超えました。「そう思う」が14ポイント増えたことも学校の取り組みをご理解いただいた結果かと考えます。「考える力」が児童の「生きる力」となります。課題や問題を自分なりに工夫してなんとか解決していく力がつくよう努めていきます。

7 学校は、児童に自分を表現する力をつけようとしている。



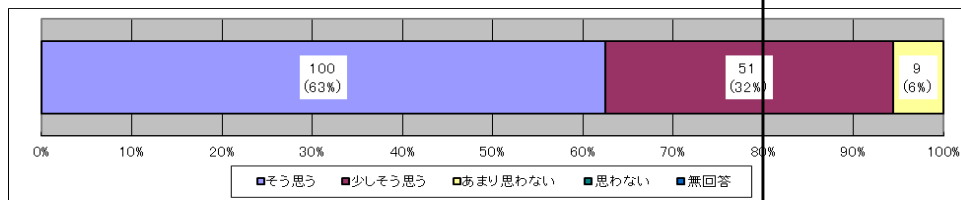
プラス評価が9割を超えました。6の質問同様学校の取り組みをご理解いただいた結果と考えます。自分の考えを書いたり意見を伝えたりする力は、基本的で大切な力です。言葉だけでなく、動きや作品で自分を表現することもできます。児童が、意欲的にのびのびと自分を表現できるように努めています。

8 学校は、友達と元気に遊び、丈夫でたくましい子を育てようとしている。



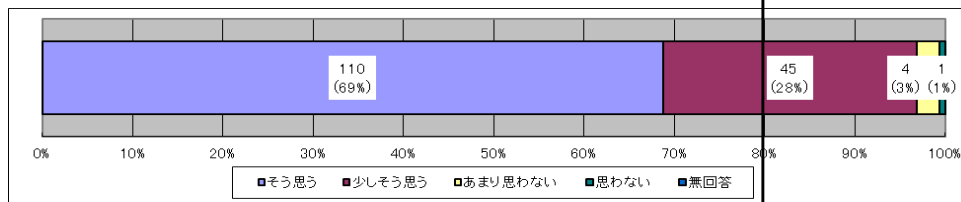
プラス評価が97%とたいへん高い評価です。今年度は活動が制限される中、休み時間や放課後の時間、縄跳びや一輪車、鬼ごっこ、ボール遊びなど元気に遊んでいる児童がたくさんいました。このことは、丈夫な体づくりにつながっていると思います。また、体育を通して体力向上にも努めています。スマホやゲームの時間、睡眠時間や食事等、家庭生活のあり方も大きく影響していきます。今後も、学校と家庭で連携していきたく思います。

9 学校は、健康・体力増進・食に関する指導などに努めている。



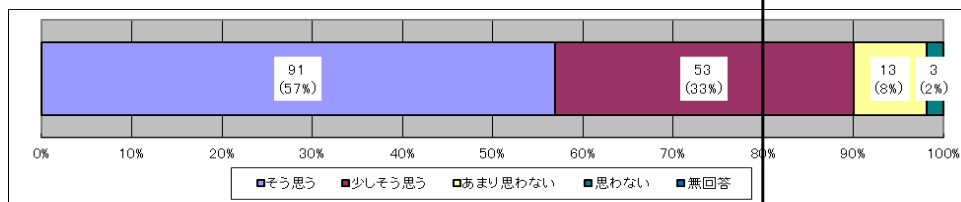
プラス評価は昨年度とほぼ同様の高い評価です。保健室から、健康管理についての情報などを定期的に発信しています。体育では、ソーシャルディスタンスを保ちながらできる運動を意識して取り入れるなど、各クラスで工夫しています。給食は配膳を配りきりにして、基本その学年ではどのくらいの量や栄養バランスを1食あたりにとつたらいのかを、児童に継続して伝えていきます。

10 学校は、たしかめカードや通信簿・個人面談などで、児童の学習の様子や成果をわかりやすく伝えるように努めている。



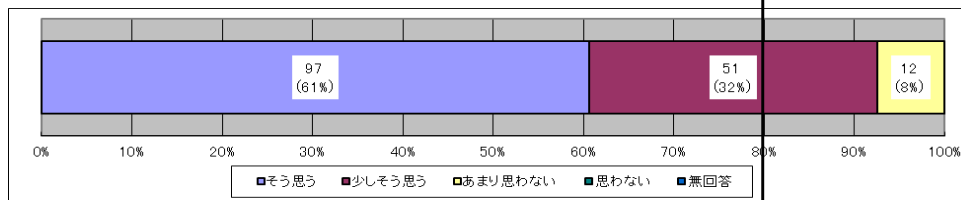
プラス評価が2ポイント減りましたが「そう思う」の回答は3ポイント増えています。今年度より新学習指導要領が完全実施され通信簿の様式も変更しています。スタイルが変わっても、わかりやすく、児童の励みとなる評価を工夫していきたいと思っています。

11 学校は、児童の日常生活の様子をわかりやすく伝えるように努めている。



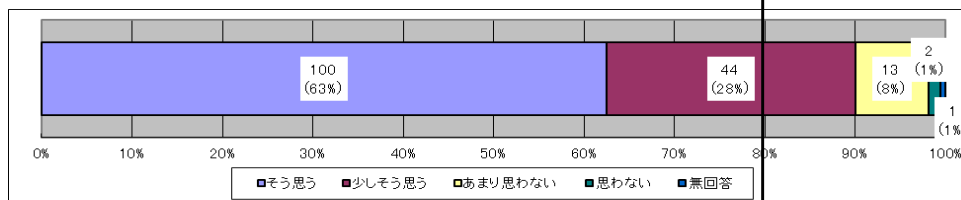
プラス評価が5ポイント減りました。今年度は長期的な予定をお知らせすることができませんでしたが、併せて急な変更や臨時の対応をお願いすることが多かったためわかりにくかったと思います。学校からのお知らせ(学校便り・学年便り・学級通信・保健便りなど)に関心をもって読んでいただけるよう、また学校までご足労いただいている面談もいっそう有意義なものになるように努めています。

12 学校は、児童の学習や学校生活、心身の健康などについての相談に、適切に対応している。



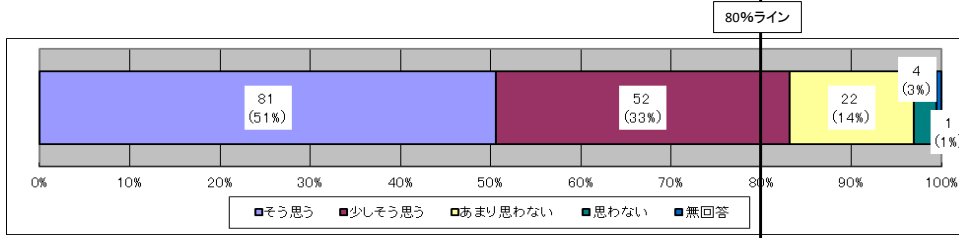
プラス評価全体は6ポイント、「そう思う」が9ポイント増えました。担任が窓口ではありますが、情報を共有し学校組織としての対応を心がけてます。また、外部機関と連携をとっていくこともあります。ふれあい相談員や月2回来校するスクールカウンセラーも相談に応じますので、活用していただければと思います。今後も、よりよい対応を目指していきたいと思っています。

13 学校は、何かあった時や相談したときに、適切に対応している。



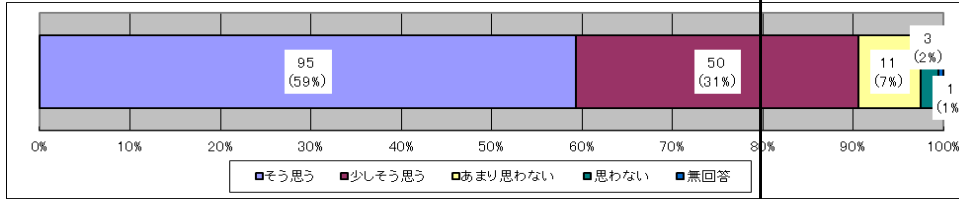
プラス評価全体はほぼ昨年度と同様の評価です。「そう思う」が19ポイント増えました。今年度いろいろな新しい対応を求められる中で学校の対応にご理解いただいたことに感謝いたします。内容によっては、十分に納得していただくのが難しい事案もあるかもしれません。今後も、最善を尽くして対処していくつもりです。その都度の対処につきまして、ご理解ご協力をお願いいたします。

14 学校は、安全な環境で安心して過ごすことができるよう施設・設備を整備している。



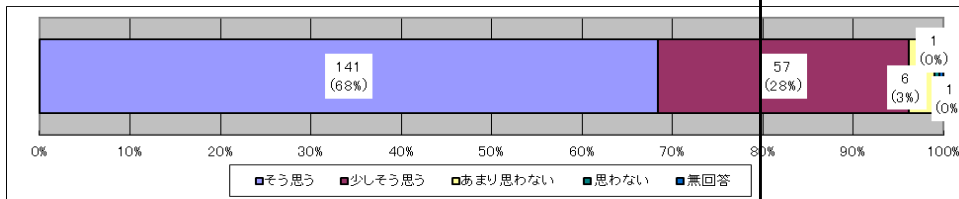
プラス評価は、少し増えました。古い校舎なので心配もあるかもしれませんが、これまでに耐震工事を済ませており基準は満たしています。また毎年、市と情報を共有し少しずつ改修も行っています。毎月、全職員で分担箇所安全点検を行うとともに、校庭の遊具等は機会あるごとにチェックを心がけ、危険箇所を見逃さないようにしています。今後も、施設・設備の状態を常に把握し安全を心がけていきます。

15 学校は、防災・防犯などに備えた指導や対策をとっている。



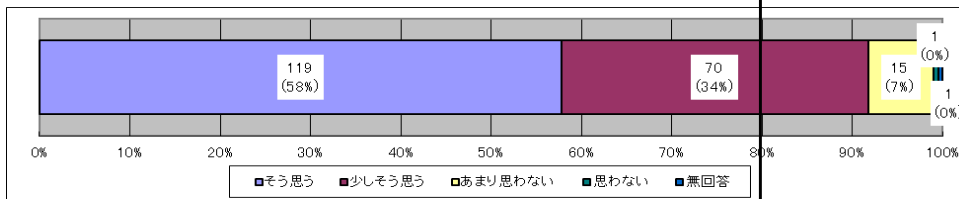
「そう思う」が20ポイント以上増えました。プラス評価も90%を超えました。今年度は学校全体で集まる形の避難訓練等が予定していた状態では行うことができませんでした。その分、学年・学級での指導を丁寧に行ってきました。今後も学年・学級での指導・全体での指導を取り交ぜながら、安全で安心できる状況をつくっていききたいと思います。

16 お子さんは、人を思いやる子に育てている。



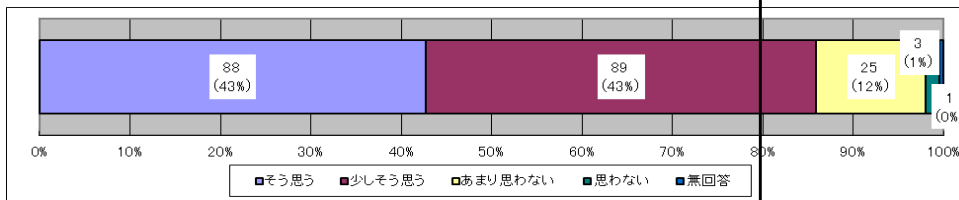
この質問以降は、一人ひとりのお子さんについて保護者の方がどう思われているか答えていただいています。プラス評価は、2ポイント下がりましたが、「そう思う」は4ポイント増えました。思いやる心をもっていることは何より素晴らしいことです。おうちの方にそう思われているお子さんが、今以上に相手のことを考えることができる児童に育ててほしいと思います。

17 お子さんは、学校の授業を理解している。



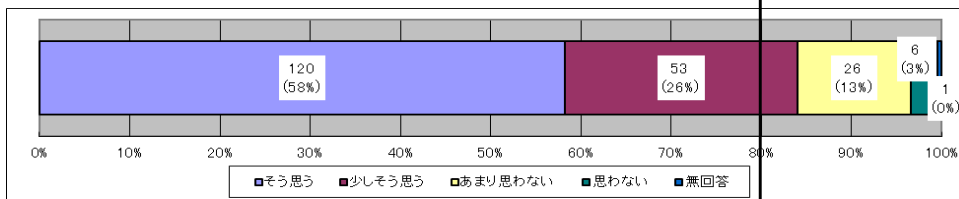
プラス評価が3ポイント増え「そう思う」は11ポイント増えました。5の質問と関連させて、指導方法の工夫や個に対応した指導を行っていきます。どんなことがわからないのか、どこに課題があるのかを把握しながら、学校では、「これからも「わかりやすい」「できたと感じることができる」授業を目指していきます。

18 お子さんは、困難に負けなたくましい心を持った子に育てている。



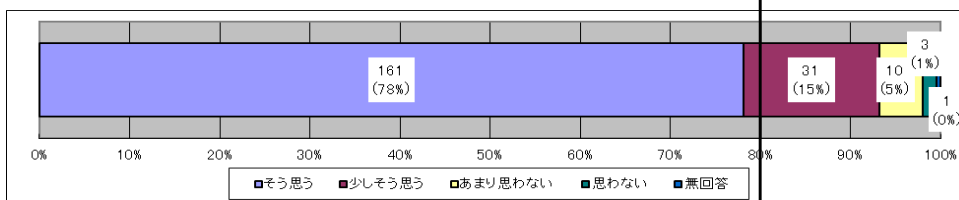
プラス評価が4ポイント増えました。また「そう思う」が8ポイント増えています。体力向上による体のたくましさ、年齢相応の忍耐力の両方の力がつくよう目指しています。今年度は、これまでに経験したことのない「我慢する」「耐える」ことが多く、前に向かうということが難しかったと考えます。学校では、挑戦する気持ちをサポートすることを大切にしていきます。

19 お子さんは、家で学校の事をよく話している。



プラス評価が、昨年度より6ポイント減りましたが、「そう思う」は12ポイント増えています。そのことから、実際に家で学校の事を話す児童が増えているのではないかと考えます。話をしようと思っているけれど話づらい年頃ということもあるかもしれません。ご家庭で話すきっかけをつくっていただくとありがたいです。

20 お子さんは、楽しく学校に通っている。



プラス評価は昨年度とほぼ同様ですが、「そう思う」が10ポイント増えました。昨年度末から今年度初めの休校期間中は、それまで当たり前だと思っていた、通学ができないことの不自由さを感じたことと思います。1の質問同様、人との関わりや集団で活動する価値を伝え、全ての児童が気持ちよく過ごせる学校づくりを心がけていききたいと思います。